

■採択年度（タイプ・申請区分）※該当の口を■にしてください。／大学名

【ASEAN 対象】H23（A-Ⅱ）H24（Ⅰ）H24（Ⅱ）【AIMS】H25／東京医科歯科大学

■プログラム名

東南アジア医療・歯科医療ネットワークの構築を目指した大学間交流プログラム

—以下、タイに特化した内容を主に記載ください。—

■相手大学・機関（国名も記載ください）

チュラロンコン大学（タイ）

■主な活動内容（概要）

1. タイへの派遣プログラム

- 1) タイ歯科研修プログラム：チュラロンコン大学に歯学部学生を派遣、タイの歯科医療、歯学教育、歯科保健システム、地域歯科保健等の理解を目的とした研修を実施した。文化交流イベントでは、学生相互の文化理解や英語コミュニケーション能力向上を図った。
- 2) 本学医学部学生派遣プログラム：医学部学生をタイに派遣し、現地教員の指導の下、基礎研究分野における研究プログラムに従事した。

2. 本学への受入れプログラム

- 1) TMDU 歯科研修プログラム：本学にチュラロンコン大学学部学生をインドネシアおよびベトナム学生と同時期に受け入れ、病院見学、臨床・基礎研究室での研修、歯科技術コンテスト、歯科関連企業見学、文化交流、シンポジウム開催などを行い、日本を含めた4カ国の学生交流を行った。歯科技術コンテストではお互いに競合い、同じ歯科学生として相互に刺激を受け、将来の歯科医療ネットワーク構築に向けた歯科学生間のネットワーク強化につながった。
 - 2) チュラロンコン大学医学部学生受入れ：本学教員の指導下、臨床分野では病院見学および臨床実習、基礎研究分野では与えられたテーマに関する研究を行った。
- #### 3. 国際セミナー開催：タイにおいて医歯学領域の学術交流セミナーを2回開催した。

■プログラムの現状・課題、成功事例

（単位互換、危機管理、寮・奨学金、その他プログラムをつくる上での障害等について、できるだけ具体的に記載ください）

現状・課題

- ・ 在日外国人（外国籍）学生の取扱い：本学に在籍する在日外国人（外国籍）学生を本事業でタイに派遣したが、本事業の派遣実績から除外するよう指導を受けた。留学生の派遣は実績として認められるので、在日学生も同様の取扱いができないのか。
- ・ 政情不安：学生派遣は、政情不安のため中止、延期、途中帰国などの対応を取った。派遣学生や保護者には不安に思う者もあり、緊急時の対応を考える必要がある。

成功事例

1. グローバルリトリート：タイ、日本の学生、教職員約50名による1泊2日のグローバルリトリートを開催。寝食を共にし、英語による講義、ワークショップ、文化交流プログラムなどを通じて学生の英語能力向上、異文化理解を進めることができた。
2. TMDU 歯科研修プログラム：プログラムも2年目を迎え、派遣プログラムに参加した日本人学生が、来学したタイ学生を案内するなど、プログラム継続の成果が今後期待される。